

「国際規格セミナー2023」を開催しました

2023年8月9日

公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、鉄道国際規格センターを設置し、会員の皆さまとともに、鉄道分野における技術の国際規格化に関わる活動を推進しています。このたび、鉄道分野の国際標準化活動に携わる人材の育成を目的として、「国際規格セミナー2023」をWebセミナー形式で二日間にわたり開催しましたのでお知らせいたします。今後も、我が国の国際標準化活動の推進に取り組んで参ります。

【セミナーの開催概要】

1. 開催日時：2023年7月31日（月）10時00分～15時50分
8月3日（木）10時00分～16時00分

2. 参加者： 鉄道国際規格センター会員 64社290名

3. セミナー概況

今回のセミナーは、これから鉄道分野に関する国際標準化活動に携わる若手や中堅の方を対象に、「初心者のための国際規格の基礎」、「国際規格に関する国内外の状況と規格審議の状況」、「RAMS基礎と海外ビジネス経験談」の3つのテーマについて、Webセミナー形式で二日間にわたり開催しました。（プログラムの詳細は裏面参照）

「初心者のための国際規格の基礎」では、一般財団法人日本規格協会の講師による国際規格入門の講義や鉄道分野における国際標準化活動の解説が行われました。また、「国際規格に関する国内外の状況と規格審議の状況」では、鉄道分野の国際的な政府間組織、電力分野と信号分野に関する規格審議の状況を紹介しました。「RAMS基礎と海外ビジネス経験談」では、これまでの国際規格セミナーの受講者から要望の声が高かったIEC 62278（RAMS規格[※]）について、システム開発における役割などの基礎から海外ビジネスにおける経験までを広く紹介しました。

参加者からは、近年の鉄道分野における国際標準化活動への関心の高まりを反映する形で、国際規格審議の状況や海外ビジネスに関わる課題など、多くのご質問やご意見が寄せられました。

※RAMS規格：システムにおける信頼性（R）稼働率（A）保守性（M）安全性（S）について、システムのライフサイクルにわたってこれらの性質が保たれることを証明するために必要な文書や手続きなどを定めた規格。海外では、信号分野など多くの分野で活用されている。



交通安全環境研究所 森 崇 様



近畿車輛 南井 健治 様

Webセミナー形式による講義の様子

4. プログラム

2023年7月31日（月）10時00分～15時50分

■開会挨拶

鉄道総研 理事 山崎 輝

■初心者のための国際規格の基礎

- ・国際規格入門

日本規格協会 吉田 均 様

- ・鉄道分野における国際標準化活動

鉄道総研 鉄道国際規格センター 関 清隆

■国際規格に関する国内外の状況と規格審議の状況

○国際規格に関する国内外の状況

- ・鉄道分野の国際的な政府間組織 OTIF 及び OSJD の概要

三菱総合研究所 スマート・リージョン本部 主任研究員 美濃 良輔 様

○規格審議の状況

- ・鉄道電力にかかわる規格審議の状況

鉄道総研 鉄道国際規格センター 岡部 浩之

- ・鉄道信号に関する規格審議の状況

鉄道総研 鉄道国際規格センター 岩田 浩司

2023年8月3日（木）10時00分～16時00分

■RAMS 基礎と海外ビジネス経験談

○RAMS 基礎

- ・RAMS に基づいた新システム開発（1）システム開発と RAMS 規格
- ・RAMS に基づいた新システム開発（2）新技術と規格の整合性

交通安全環境研究所 鉄道認証室 主席研究員 森 崇 様

○海外ビジネス経験談

- ・海外車両プロジェクトの現場から ―規格にまつわる経験談―

総合車両製作所 海外事業本部 課長 工藤 真也 様

- ・鉄道車両のデザインと国際規格 ―近畿車輛の輸出車両のデザイン―

近畿車輛 取締役常務執行役員 南井 健治 様

■閉会

鉄道総研 鉄道国際規格センター 北川 敏樹

（問い合わせ先） 公益財団法人鉄道総合技術研究所総務部 広報 TEL：042-573-7219